

令和5年度 愛媛県国民健康保険運営協議会 結果概要

○開催日時 令和6年2月20日（火）19：25～21：00

○開催場所 愛媛県庁第一別館 3階 第3会議室

○出席委員数 8名（3名欠席）

○次第及び内容

- 1 開 会
- 2 保健福祉部社会福祉医療局長あいさつ
- 3 議 題

議題1 令和4年度愛媛県国保特別会計決算及び令和5年度愛媛県国保特別会計予算について

【保険医又は保険薬剤師代表委員】

令和4年度の2月補正予算において、約15億円の財政安定化基金の積立てを予定していたと思うが、予定どおり積立てられているのか。

【事務局】

令和4年度決算の歳出「その他22億円」の中に含まれており、財政調整分として余剰金から、14億8,125万9,000円を積み立てている。

議題2 令和6年度国保事業費納付金等の算定について【諮問事項】

【保険医又は保険薬剤師代表委員】

八幡浜市は、所得水準・医療費水準ともに高いようだが、どのような理由が考えられるのか。

【事務局】

国保は、被用者保険加入者が退職した後、収入が年金のみとなった方が多く加入していることから、働いている方が多ければ所得水準は高くなる。特に水産業や農業が盛んなところは所得水準が高くなる傾向がある。

医療費水準については、多くの要因が影響を及ぼすことから分析が難しいが、高齢化が進むにつれ1人当たりの医療費が高くなることから、高齢者の割合が高ければ医療費水準も高くなる。また、医療機関の充実度や住民の地域性などが考えられる。

【被保険者代表委員】

同じように高齢者が多いと思われる、久万高原町では医療費水準が高く、松野町や愛南町では医療費水準が低くなっている。松野町や愛南町は、制度が異なる後期高齢者医療の加入が多いことから、集計に反映されず医療費水準が低くなっているのか。

【事務局】

医療費水準に影響を及ぼす要因は、精神疾患の入院患者が多い場合、透析患者が多い場合、高額な薬剤を使用する患者が多い場合など、様々な要素が組み合わさっていることから分析は非常に難しい。

なお、特に小さな自治体の場合、患者1人の医療費が全体医療費に与える影響も大きくなるため、昨年は医療費水準が高かったが今年は低いといった状況もあり得る。

【被保険者代表委員】

砥部町の医療費水準が低い理由はなにか。

【事務局】

レセプトデータでのみ分析した場合、透析患者の割合が低い、統合失調症患者の1人当たり医療費が低いことが影響していると考えられる。

【被保険者代表委員】

松野町や愛南町の医療費水準が低い理由は、近くに病院が少ない等の医療難民問題が影響しているのか。

【事務局】

利便性等の医療機関の充実度は受診行動に影響を与えると考えるが、医療費水準を押し上げる原因としては、透析患者の割合が高い等1人当たり医療費が高い、高齢者の割合が高い等の要因が関係していると考えられるが分析は難しい。

【被保険者代表委員】

A I を活用した医療分析は、人の手で行うよりスピードが速くなったり、医療費削減効果に繋がるなどテレビで取り上げられているが、医療機関から県に対してA I 化に関する要望はあるのか。

【事務局】

確かにA I の活用は、早期発見・正確な診断という意味で医療費の削減や医療費適正化に繋がると思うが、先端医療や最新医療は、高額な医薬品等による医療費の増加につながっていることも現状である。そのため、重複受診や重複処方といった医療費の適正化に努めることも重要であると考えている。

なお、県でも過去にA I を活用した特定健診の受診勧奨事業を行ったこともあり、A I をはじめとする先端技術の有効活用は重要であると考えていることから、今後も情報等があれば提供いただきたい。

【保険医又は保険薬剤師代表委員】

激変緩和措置で使用しているデルタ値は、最終的にゼロに近づいていくのか。

【事務局】

国保の財政運営を都道府県化したねらいに都道府県単位で保険料水準を統一することがあり、将来的にその保険料水準を県内で統一していくとデルタ値の設定はなくなる。

【会長】

事務局から説明があったとおり、納付金の徴収に関する事項のうち、当協議会に諮問のあった「保険料激変緩和措置」については被保険者の保険料負担に激変が生じないように配慮しているほか、近年の1人当たり給付費等の伸びなどの実態に沿ったものであることから、当協議会としては、事務局の案が適当と考えるがよろしいか。

【運営協議会】

異議なし

【会長】

では、事務局案を適当と認めることで、当協議会の方針を取りまとめさせていただきます。

議題3 愛媛県国民健康保険運営方針の改定について【諮問事項】

【被保険者代表委員】

完全統一というのは何年後に達成する予定なのか。

【事務局】

まずは令和15年度の準統一を目指すこととし、その中で、市町とも完全統一に向けての協議も進めていきたいと考えている。

【被保険者代表委員】

県内どこに住んでいても保険料が同じになる保険料水準の統一は必要であると感じており、是非、進めていただきたい。

【保険医又は保険薬剤師代表委員】

本縣市町の医療費水準の県平均は全国平均を上回っていることから、本県は高齢者が多く、医療費が高いことになるのか。

【事務局】

高齢化が進んでいることから、1人当たりの医療費が高い被保険者が多く、全国平均と比較すると医療費水準が高い傾向にある。

【会長】

事務局から説明のあったとおり、当協議会に諮問のあった「愛媛県国民健康保険運営方針の改定」については、時点修正のほか、国の法改正等に対応するものであり、特に、保険料水準の統一に関しては、市町や関係機関等とも十分協議され、保険料の急激な増減による被保険者への影響も配慮されているほか、統一した場合のメリットについても理解できるものであることから、協議会としては、事務局の案が適当と考えるがよろしいか。

【運営協議会】

異議なし

【会長】

では、事務局案を適当と認めることで、当協議会の方針を取りまとめさせていただきます。